

令和3年度 部局経営方針

部局名	消防本部	部局長名	松木 巖生	
部局の経営資源	職員数 (人)	当初予算額 (千円)		令和3年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)
	正職員	81	一般会計	275,397
	再任用職員	3	特別会計	
	会計年度任用職員	1	前年度繰越額(千円)	
	任期付職		一般会計	
			特別会計	
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>【基本姿勢】 消防本部は、「第2次日向市総合計画」の将来像である「海・山・人がつながり、笑顔で暮らせる元気なまち」の実現に向けて、各部局と連携を図りながら各種施策に取り組めます。</p> <p>【総合計画・基本理念】 多様化、複雑化、高度化する市民ニーズや大きく変化する社会環境に対応しながら地域課題を解決するためには、「地域の在り方は地域が決め、地域が担う」という理念の下、まちづくりの基本理念である、「全ての人の人権が尊重されるまちづくり」(人権尊重)「市民との協働による市民が主役のまちづくり」(市民協働)「地域の活用による自立したまちづくり」(地域力活用)を推進し、様々な課題に対し市民や企業、行政が連携して解決を図っていく自立したまちづくりを進めます。</p> <p>【総合計画・基本目標】 4-1 消防体制の充実</p> <p>①警防・救急体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急需要に対応するために、関係機関と連携し、救急体制の強化を図ります。 ・消防施設や資機材の計画的な整備や適切な維持管理に努めます。 ・救急車の適正利用について、市民への啓発活動を推進します。 ・応急手当普及講習会を開催し、受講者の増加を図ります。 ・消防法令違反事業所への立入検査や適切な指導を行い、違反の是正に取り組めます。 ・住宅用火災警報器の全戸設置を目指し、消防団と連携した防火訪問や啓発活動を推進します。 ・水難事故に迅速に対応するため、水難救助体制を見直し必要な資機材の整備を行います。 <p>②消防団体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の必要性を市民に啓発し、消防団員の確保や消防団活動への支援に努めます。 ・消防団協力事業所の拡大や企業への消防団活動に対する理解の促進を図ります。 ・機能別消防団員を拡充し、若者や女性などが加入しやすい組織づくりを推進します。 ・消防団施設の計画的な整備・更新や国の基準に基づく適正な装備品の配備に努めます。 ・消防操法大会の開催や専門的研修への派遣など、消防団員の資質向上や活性化に取り組めます。 ・消防団の組織再編について検討し、地域消防力の維持を図ります。 			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【消防本部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	4 地域医療・救急医療体制の充実	3 東郷分遣所への救急車の配備など、救急体制の充実・強化に取り組みます。	消防本部	救急体制の強化に要する経費	9,777	9,777	東郷分遣所への救急車配備の方針が決定され具体的な取り組みが始まりました。コロナ感染症へも状況に合わせた柔軟な対応が求められます。	・救急需要に合わせて、関係機関との連携を十分に取り活動を行う。本署救急車の更新及び東郷分遣所への救急車配備に向けた準備を行います。	・救急需要に合わせて、関係機関との連携を十分に取り活動を行います。 ・本署救急車の更新車両納車後、すぐに運用できる態勢を整えます。 ・本署救急車の更新に向けて事務処理を行います。	・救急需要に合わせて、関係機関との連携を十分に取り活動を行います。 ・本署救急車の更新車両納車後、すぐに運用できる態勢を整えます。 ・東郷分遣所への救急車配備に向けた準備を行います。
2	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	2 消防団の機能充実	1 不足する消防団員の確保や機能別消防団員の有効活用、女性消防団員の勧誘強化に取り組みます。	消防本部	消防団活性化の推進に要する経費	52,152	52,152	バイク隊の結成や出初め式等の行事のあり方の改革、SNS等での積極的な情報発信など消防団の活性化に取り組んでいるが、団員不足については、南部地区や東郷地区の地元の入団適齢者不足が大きな要因になっています。	・様々な活性化策で消防団をアピールし、若者や女性の勧誘につなげます。	・女性消防団員の新規入団者30名を目標に、現役消防団員から地元住民・知人等に勧誘活動を行います。	・上半期の取組を継続して行います。 ・上半期の取組を踏まえ、今後の取組内容を協議します。
3				2 消防団の部の統廃合などに対応した組織再編の検討を行います。	消防本部				南部地区・東郷地区では部の団員数が10名程度の部が散見されます。	・現状維持を目指しながら、組織の再編の協議を継続します。	・部員が減少している各部の現状について聞き取りを行い、団員数の維持と消防団の機能を維持する取り組みを行います。	・上半期の取組を継続して行います。 ・上半期の取組を踏まえ、今後の取組内容を協議します。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【消防本部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	R3当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	4 生活環境	1 消防体制の充実	① 警防・救急体制の充実	消防本部予防課	火災予防体制の強化に要する経費	430	430	住宅防火対策と違反事業所への指導を強化し、災害による被害軽減を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベント、消防団の防火査察等を通じて住宅用火災警報器の設置、維持管理の促進を図ります。 事業所への査察を実施し、違反是正に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災原因調査用の工具を整備し、原因究明率を高めます。 各種研修に参加し、署員にフィードバックすることで火災予防査察の質の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災予防検定資格者を養成し、予防事務の向上を図ります。 違反是正指導を強化し、火災予防に努めます。
2				消防本部警防課	救急体制の強化に要する経費	9,777	9,777	高齢化の進展に伴う救急需要に対応するため、救急業務の高度化・専門化及び活動環境の整備を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の養成と各種研修への職員の派遣を行います。 救急活動に必要な救急資器材の確保及び維持管理を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務の高度化、専門化に対応させるため各種研修へ職員の派遣を行います。 救急活動に必要な救急資器材の確保及び維持管理を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士資格取得のため研修所へ職員の派遣を行います。 救急救命士有資格者の病院実習を行います。 救急活動に必要な救急資器材の確保及び維持管理を行います。
3				消防本部警防課	救助・警防体制の強化に要する経費	9,644	9,644	複雑多様化また大規模化する災害に対して、技術の向上及び資器材の高度化を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 消防活動に必要な資格や技術の習得のため各種研修への職員の派遣を行います。 消防活動に必要な資器材の整備を行います。 潜水器具を活用した救助体制の整備に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防活動に必要な資格や技術の習得のため各種研修へ職員の派遣を行います。 消防活動に必要な資器材の整備を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防活動に必要な資格や技術の習得のため各種研修へ職員の派遣を行います。 潜水技術研修へ職員の派遣を行います。 消防活動に必要な資器材の整備を行います。
4			② 消防団体制の充実	消防本部総務課	消防団活性化の推進に要する経費	52,152	52,152	一部地域では人口の減少により、団員の確保が困難になり団員の高齢化もすすんでいます。	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の資質の向上や消防団活動の活性化を図り消防団をアピールすることで消防団員の確保に努めます。また、女性消防団員の入団を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> SNS等の各種メディアを活用して、消防団活動への理解と協力を求めます。 消防団の活動環境や処遇についての協議を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 上半期の取組を継続して行います。 上半期の取組を踏まえ、今後の取組を検討します。
5				消防本部総務課	非常備消防装備の充実に要する経費	5,068	5,068	財政的に厳しい状況から、消防団の装備の充実が困難になっています。	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動に必要な装備品の更新や充実に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や県の補助金を活用し、装備の充実に図り消防団活動環境の改善に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の実績報告を行い、次年度に向けた調査を行います。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【消防本部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	R3当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
6	4 生活環境	1 消防体制の充実	② 消防団体制の充実	消防本部総務課	非常備消防の活動に要する経費	39,007	39,007	消防団員の確保のためにも処遇や活動環境の改善が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議や研修等への積極的な参加を促し消防団員の資質の向上を図ります。 団員の処遇や活動環境の改善に向けた協議を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防学校で行われる消防団研修等への積極的な参加を促します。 団員の処遇や活動環境についての要望調査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防学校で行われる消防団研修等への積極的な参加を促します。 次年度の研修派遣の計画を行います。
7				消防本部警防課	非常備消防施設の充実に要する経費	14,726	14,726	地域防災の要である消防団活動の拠点施設である消防機庫の建て替えや老朽化した消防車両等の更新をしていく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動の拠点施設である消防機庫の建て替えを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動拠点である消防機庫建て替えの事務を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動拠点である消防機庫建て替え完成後、すぐに使用できるよう指導を行います。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【消防本部】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の充実	消防本部	—	SNS等の各種広報媒体を活用して、消防本部や消防団の活動や災害情報を発信します。	・消防団活動の様子や行事の情報配信を行います。 ・台風発生時には、災害現場からリアルな災害情報を市災害対策本部に情報発信を行います。	・消防団活動の様子や行事の情報配信を行います。
2			市民ニーズの的確な把握	消防本部	—	市民からの救急要請を始めとする、各種要望に適切に対応します。	・市民や関係団体から各種要望等あれば、必要に応じて説明や情報提供を行います。	・上半期と同様の取組を行います。 ・上半期の取組の検討を行い、課題等あれば対応策を協議します。
3		職員の育成	災害に対する職員対応能力の強化	消防本部	—	消防学校での研修や消防活動に必要な資格取得による能力向上に努めます。	・職員を消防学校や資格取得講習等に派遣します。	・職員を消防学校や資格取得講習等に派遣します。 ・次年度の派遣計画を行います。
4		情報公開と個人情報の保護	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用	消防本部	—	情報開示請求に対する適切な対応や、消防業務で知りえた個人情報の漏洩防止に努めます。	・情報公開を求められた場合は、関係部局と連携して内容の精査を行い情報公開を行います。 ・消防業務で知り得た個人情報の漏洩防止を徹底します。	・上半期と同様の取組を行います。 ・上半期の取組の検討を行い、課題等あれば対応策を協議します。
5	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	事務事業の見直し	消防本部	—	水防協議会事務の防災推進課への移管に取り組みます。	・防災推進課との継続的な協議を行います。 ・事務の簡素化に向けての情報収集を行います。	・防災推進課との継続的な協議を行います。
6		行政運営の効率化の推進	ICTの利活用	消防本部	—	・救急車内から医療機関への映像を含む情報伝送システムの活用を継続します。 ・ドローンによる映像情報を活用した消防活動を行います。	・有効活用出来るように、不具合時の対応策など導入業者と取り決めを行います。 ・ドローンの活用に向けて各種手続きや訓練を行います。	・有効活用を図りながら、他のシステムを活用した方法についても検討を行います。 ・ドローンの現場での活用を積極的に行います。
7			職員の働き方改革	消防本部	—	各課で事務の分担を行い、時間外勤務や休日出勤の改善を図ります。	・個人で多くの業務を持たないように、各課・係間で分担できそうな業務の状況を共有します。	・定期的に係で会合を行い、業務の状況を報告し情報を共有します。
8	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	補助金等の見直し	消防本部	—	現在の消防団体制を維持するためには、消防団運営補助金は必要不可欠です。	・運営補助金の早期支給に向けて手続きを行います。	・簿冊点検時に運営補助金の執行状況の確認を行います。